

夢と志を育てる学園

玉手山学園 広報

Vol.
85

2017.10 AUTUMN

巻頭 理事長あいさつ

玉手山学園(5,000人)は大きな存在・力(ちから)
若さは宝(エネルギー)

“Yattemiyou!”

Contents

- 巻頭 理事長あいさつ
- Tama Project 2017 玉手山学園祭
- 大学 開学20周年記念事業
- 関女・福科大学 女子バレーボール部活動報告
- 高校 理事長杯“中学生バレーボール大会”
- 高校 キッズフェスタ 大盛況!
- 高校 クラブ活動報告
- 幼稚園 楽しかった夏祭り、キャンプ!
- 幼稚園 ようこそ! オープンスクールへ!!
- 2017K's コンサートへのお誘い
- 学園をもっと知ろう! 第4回
～立教館(その1)～
- 平成28年度決算概要・平成29年度予算概要
- 大学・短大ハンドボール部 西日本インカレ出場



建学の精神「感恩」

人は さまざまな恩恵のもとで 生かされている
この真理に目覚め 感動と感謝から生まれる 豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い 行動するとき 私たちは社会に貢献できる

～「ありがとう」に出会い 気づき 感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生まれる～

巻頭 理事長あいさつ

玉手山学園(5,000人)は
大きな存在・力(ちから)
若さは宝(エネルギー)

“Yattemiyou!”



学園 75th 大学 20th 高校新校舎(高校本館)竣工 だから「玉手山学園祭」

2017年は学園創立75周年、大学開学20周年、そして高校新校舎竣工の年です。この感謝と喜びを、みんなで共有(実感)するため、8月27日(日)に「**Tama Project 2017!** 玉手山学園祭」(学園初の試み)を開催しました。約5,200人(街の人も誰でも参加歓迎 学園史上最高数)が来場してくださり、学園力(元気を)を実感し、楽しんでもらえました。幼稚園から大学まで、学生・生徒・園児そして教職員の「All玉手山」での運営・実践は、「めちゃくちゃシンドかった」。でも「大盛況、凄い、元気がいい、楽しかった、美味しかった」などのお声をいただき、学園(学生・生徒・園児、教職員)はその手応えを肌で感じ成長しました。(ありがとうの言葉は人を育ててくれます) “やれた・できた **We accomplished it!**” の達成感を得て、私たちはあらためて学園(自分たち)の大きな存在・力を実感し、それを地域にも発信できました。運営にあたった多くの教職員、学生・生徒、保護者(総勢約1,400人)の誠実な尽力と、大勢の来場者の良心あってこそこの祭りの盛会です。心から感謝申し上げます。



高校新校舎のデジタルサイネージ 学園の豊かな情報を共有



玉手山学園祭 学園の元気を発信 大盛況 **We accomplished it.**

できない理由より できる方法を考える 人(組織)に **Yattemiyou!**

想定来場者数5,000人(学園運営スタッフ含む)、飲食の出店70ブース(約2万食)、大学・短大全学科によるアカデミックブース(学園専門力の見せ所)、高校新校舎見学、スクーリング、短大保育学科の学生出動によるキッズフェスタ、お楽しみ大抽選会など、玉手山学園祭は初めての試みでした。70ブースも有志(学生、生徒、教職員)が集まるか、5,000人も来てくれるのか、周辺大混雑、食事不足、食中毒、熱中症、怪我、ケンカ、悪天候、スクールバス混雑、不測の事態など「心配の種」は尽きず、果たして「できるのか、うまくいくのか」という不安は最後までありました。学園は「**Yattemiyou!**」の心意気を大切にしています。やれば失敗もある、しかしトライしての失敗は成長につながります。皆さまのおかげで無事に盛会裡に、「玉手山学園祭」という大きなイベントを学園の総力を結集してやり遂げることができました。できない理由(取りやめの言い訳)を考えるより、できる方法を考える人(組織)でありたいと思います。学生・生徒・園児そして教職員の皆さまに感謝とともに申し上げたい、“**Keep trying!** 若さは宝”



玉手山学園祭の記念品
サイダーのラベル 面白い発想

まさかの時(大規模災害時)に 玉手山学園は頼られる(何ができる) 5,000の若い力

2016年4月の熊本地震で、熊本学園大学の避難所運営が高い評価を受けました。それは「いつでも、どなたでもどうぞ」という当たり前のことを貫き通したからです。その原動力は若者(学生)たちの「自分でも何かできることはないか」という豊かな心とその実践でした。学生たちの支援なくしては為し得なかったことです。若者は素晴らしい感性とエネルギー(力)を持っています。その芽を摘むか伸ばすかは大人(学園の教職員)の度量にかかっています。玉手山学園の若者たちはどうか。「必ずできます、やってくれます。」当地でもし何かがあれば、周辺の方々は必ず学園を頼って来られます。学園には大きな存在、設備・知識(技能)そして何より大勢の若者のエネルギーがあるのです。2017年3月、玉手山学園災害時基本構想(何ができるか 何をすべきか)をスタートさせました。大学の社会福祉学部を中心に構想策定の**Working Team**が素案をつくり、学園をあげてその構想の共有・啓発に努めてまいります。柏原市の人口は7万人、玉手山学園は5,000人、間違いなく大きな存在・力です。街のお役に立ち、頼られ 学園も成長できます。

Tama Square(仮称)って何? For the students の快適空間 Working Teamに期待 Tama Blue もよろしく!

高校蜂の巣校舎の解体が始まりました。2018年1月末には解体が終了し、広大な空間が生まれます。その跡地をどうするか。いままで学園にはなかった快適な空間を創りたい。青空、緑、クリーン、開放感、そして食事、お話、勉強、休憩など“何でも来い”の贅沢な場所にしたい。さあどうする! 喜ばれないものを創ったら大変です。何を創るか、女子中心の**Working Team**にその構想策定をお願いしました。皆さんも、一人でも多くの人が喜ぶ快適空間を創り上げるために力を貸してください。

また今年の5月に学園のスクールカラーをコバルトブルーと定め、“**Tama Blue**”と命名しました。感謝、夢と志を示す元気の出る色として、親しんで様々なところで使ってください。



蜂の巣校舎の跡地に今までにない素敵な空間を
For the students Tama Square(仮称)

夢と志を育てる 建学の精神「感恩」

学生・生徒・園児、そして教職員が夢と志を育てる。この学園に来たら元気・やる気が出てきた、夢中になれるものが見つかった。そんな学園をめざしています。学園の建学の精神は「感恩」です。学園で多くの“ありがとう”に出会い大切にしてください。そして「笑顔、あいさつ、優しさ」も豊かな心・人格の出発点です。難しく考える必要はありません、実践しましょう。皆様の豊かな学園生活を祈念いたします。

感恩

理事長・学園長 江端 源治

Tama Project 2017～大学開学 玉手山学園祭

法人本部 経営企画室 後藤 知寛

晴れ晴れとした日差しが心地よい8月27日(日)、「大学開学20周年と高校新校舎竣工の喜び・感謝を、できる限り多くの方と共有したい」という強い想いから、玉手山学園祭を開催しました。本学園の大学生・短大生・高校生のみならず、教職員も全員がスタッフとして参加し、来場者約3,800名含め、合計5,000名を超える規模で、大いに盛り上がりました。



オープン前から来場者続々!



みんな一緒のTシャツでおもてなし

オープニングセレモニーでは、学園祭の実行リーダーである江端理事長・学園長より開催挨拶が行われました。また、今回のお祭りを開催するきっかけの一つである、高校新校舎竣工の設計・施工をしてくださった協力会社様へ感謝状をお贈りいたしました。



理事長 開催挨拶



服部建築事務所様 大末建設様へ感謝状贈呈

また、小さいお子様から、大人まで楽しんでいただけるよう、本学園ならではのイベントを実施し、たくさんの方にご参加いただきました。

20周年・高校新校舎竣工記念事業～

を開催しました。



(イベント紹介)



出店・屋台コーナー



高校新校舎内覧会



キッズフェスタ



アカデミックブース



スクーリング



藍染体験



お楽しみ大抽選会



手話部イベント



軽音楽部イベント

玉手山学園祭特設サイトの
開催レポートも是非ご覧ください、
たくさんの写真がごぞいます♪



Tama Project 2017特設サイト



記念品(トートバッグ・オリジナルジュース)

ご来場いただいた皆様、学園の“元気”を少しでも感じていただけたでしょうか。本学の学生・生徒のスタッフも皆様と触れ合い、おもてなしをすることで成長できたのではないかと思います。

ご来場いただいた皆様、ご協力いただいた学園関係者の皆様へ厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

関西福祉科学大学同窓会・役員会・総会 および 開学20周年記念 同窓会パーティーを開催しました。

大学 広報室 辻村 匡志

6月25日(日)、関西福祉科学大学 開学20周年記念事業の一環として、ホテル日航大阪にて、関西福祉科学大学 同窓会・役員会・総会および開学20周年記念同窓会パーティーを開催しました。

当日は、10時から役員会、総会と開催され、平成28年度事業報告及び決算報告書、平成29年度役員人事、平成29年度事業計画について審議されました。

午後からは、開学20周年記念パーティーということで、同窓生180名、同伴者19名、OB教員5名、現教職員38名(大学事務局13名)の合計255名が参加し、盛大に開催されました。久しぶりに再会した同窓生同士、同窓生と教職員の交流が見受けられ、終始楽しい時間を過ごされました。同窓生の皆さん、是非、関西福祉科学大学にもお越しください。



同窓会総会



同窓会役員会

開学20周年記念事業

関西福祉科学大学 開学20周年記念 社会福祉セミナーを開催しました。

大学 社会福祉学部 学部長 津田 耕一

7月1日(土)、関西福祉科学大学 開学20周年事業の一環として「社会福祉セミナー」が開催されました。

当日は、約370名の方々にご参加いただき、大変盛り上がりのあるセミナーとなりました。福祉関係者、卒業生、学園教職員、学生、地域住民の方などさまざまな方にご参加いただきました。

セミナーは3部構成となっており、第1部は、Eテレの「バリバラ」でお馴染みの玉木幸則氏による記念講演が行われました。社会福祉の考え方を非常に分かりやすく、しかも、「なるほど!」とうなずける内容が随所に盛り込まれていました。第2部は、テーマごとに5つの分科会に分かれ、それぞれ活発な情報交換や意見交換が行われました。

第3部は、祝賀会で、福祉関係者、卒業生、学生、教職員が交流を深めたひとときとなりました。

当日は、多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。関西福祉科学大学は、ますます必要とされる福祉の人材養成に取り組むとともに、地域福祉の担い手として地域社会に役立つべくさらに飛躍していきたく考えております。



教育学部開設記念教育実践フォーラムを開催しました。

大学 教育学部 学部長 林 龍平

8月26日(土)、上本町にある大阪国際交流センターの小ホールにおいて「子どもとスマホー子どもを守り育てる」をテーマに「関西福祉科学大学開学20周年記念・教育学部開設記念教育実践フォーラム」を開催しました。前半では兵庫県立大学の竹内和雄先生から「スマホ時代の子どものために」と題して基調講演をいただき、後半ではスマホをテーマに、本学の治部哲也先生、堀田千絵先生、堺市教育委員会指導主事の木田哲生先生によるシンポジウムを行いました。参加者は100名で、うち本学関係者が4割、6割が学外からのの方々でした。学外からの参加者の大半は、小中高および教育委員会等の教育関係者の方であり、また講演やシンポジウムの後にもフロアーから活発に質問等が出され、教育現場でのこの問題への関心の高さをうかがわせるものでした。お忙しい中で参加くださいました学内の皆さまにはこの場をお借りしあらためて感謝申し上げます。



関女・福科大学女子バレーボール部活動報告

関女・福科大学 女子バレーボール部 顧問 祖父江 鎮雄 監督 奥野 孝治

2月26日(日)、本年度の新入部員を迎えて練習を開始しました。本クラブは、昨年4月1日より短大・四大の合同チーム「関女・福科大学 女子バレーボール部」として、名目再出発しました。今年度は、短大生・四大生合計23名の大勢の新入部員を迎え、実質合同チームとしてスタートしました。練習場所・練習時間の確保に大変な苦労を重ねました。しかも、複数の大学、複数の学部・学科に起因する複数のカリキュラムなどにも戸惑いを覚えながら、練習に励みました。このようなか、4月16日(日)から5月21日(日)までの春期リーグ戦に挑みました。その結果、4勝3敗、4位の成績を収めました。

次いで、初の挑戦として、6月29日(木)～7月2日(日)、広島にて開催された、「西日本大学バレーボール選手権大会」に参加しました。東海地方から九州地方までの大学が参加しており、多数の大学のバレーボールに取り組む姿勢、個の力、チーム力の多様な実態を目にし、本学のバレーボール部の活動に多くの課題を見い出すことができました。

8月7日(月)～8月10日(木)に開催された、「第52回全国私立短期大学体育大会」には、短大生だけのチーム構成で参加しました。例年どおり、日本私立短期大学協会主催、文部科学省・東京都後援で、短大生の参加者は約1,800名でした。開会式では、大会委員長の開会宣言、国歌斉唱、優勝杯返還、関口修大会会長挨拶に続いて、名誉総裁の高円宮妃殿下のお言葉をいただき、続いて文部科学大臣の祝辞、昨年度テニス女子団体の部優勝校である折尾愛真短期大学の木村香織さんによる選手宣誓がありました。「礼」に始まり「礼」に終わるフェアプレー精神こそ日本のスポーツの美風であり、一期一会の精神でプレーに打ち込み、明日からの日本を支える人材に成長してほしいとの言葉を皆さんからいただきました。また、選手宣誓では、多くの災害発生の中、プレーできることに感謝し、フェアプレーの精神で明日からのプレーに励むことを誓いました。結果は、予選リーグは無事通過したものの、3日目からの決勝リーグで敗退し、ベスト16に終わりました。

四大・短大の実質合同チームとして再スタートした女子バレーボール部の活動を励ましてくださる理事長をはじめ学園の皆様感謝しながら、新しいチームとして、新しい歴史を作り上げるべく努力して参ります。



第52回全国私立短期大学体育大会 総合開会式



理事長杯“中学生バレーボール大会”

高等学校 足立 匡

玉手山学園理事長杯“中学生バレーボール大会”も10回目を迎え、今年は記念大会ということで、各チームにボールケースが贈られました。今年は女子の縄手北中学校が初参加、女子の柏原中学校が久しぶりの参加となりました。女子は予選リーグから1セットも落としていない香芝中学校と枚岡中学校が決勝戦で対戦しました。お互い拮抗した試合展開で、フルセットまでもつれこみ、最後には枚岡中学校が引き離し初優勝を果たしました。男子決勝は、玉手中学校と柏原中学校の地元対決でした。地元同士負けれない意地のぶつかり合いでしたが、玉手中がそれを制し初優勝しました。

今年は、男女共に優勝チームが初優勝ということで、これからますますこの大会が発展する予感を感じさせる大会となりました。



開会式



女子決勝戦



男子決勝戦

キッズフェスタ 大盛況!

高等学校 中村 陽平

7月20日(木)、保育進学コースの行事として総合体育館にて、「キッズフェスタ」を開催しました。関西女子短期大学附属幼稚園から年中・年長クラス(254名)を招いて、3年生は「お店屋さんごっこ」、そして1・2年生は各種イベント(人が入るシャボン玉、折り紙、迷路、魚釣り、塗り絵など)を実施しました。本年度で2回目の実施となり、会場も冷房の効いた活動しやすい環境になったことで、昨年以上に園児たちは元気に駆け回っていました。上級生は年中と年長の園児の成長の違いを見極め、上手に対応を変えていたのが印象的でした。





平成29年度1学期 クラブ活動報告



高校 小森 泉

日本拳法部の一昨年に続く2度目の全国制覇を筆頭に、今年度もクラブ活動において、素晴らしい成績をあげましたので、その報告をさせていただきます。(9月1日現在)

日本拳法部

- 第21回 西日本高等学校日本拳法選手権大会
 - 団体戦 女子:優勝 男子:準優勝
 - 有段の部 男子:優勝、3位
- 第16回 大阪高等学校春季大会(5月 大阪府)
 - 団体戦 男子:優勝 女子:優勝
 - *よって全国選手権大会に男女共、大阪第一代表として出場が決定した
- 第62回 全国高等学校日本拳法選手権大会(8月 広島県)
 - 団体戦 男子:優勝 最優秀選手賞獲得
 - 女子:第3位 優秀選手賞獲得
 - 個人戦 男子:優勝、3位 女子:準優勝
- 第72回 大阪高等学校総合体育大会 日本拳法競技会
 - 団体の部 男子:優勝 女子:優勝
 - 個人の部 男子:優勝、準優勝、5位 女子:準優勝、3位

なぎなた部

- 平成29年度 春季大会 兼 全国高等学校総合体育大会大阪府予選 兼 国体1次予選会
 - 団体の部 準優勝
- 第72回 大阪高等学校総合体育大会 なぎなた競技
 - 個人の部 優勝
 - 団体の部 優勝
 - 演技の部 準優勝
- 第64回 大阪私立高等学校 なぎなた大会
 - 団体の部 準優勝
 - 演技の部 3位
 - 個人の部 優勝
 - *7月2日 姫路市武道館にて行われた国民体育大会近畿ブロック大会において団体の部3位に入賞し、本校生1名が10月1日に愛媛県で行われる国民体育大会に出場決定

バドミントン部

- 2017年度 全国高等学校総合体育大会 大阪府予選会
 - 学校対抗の部 女子:第3位
- 第72回 近畿高等学校バドミントン選手権大会 大阪府予選会
 - シングルス 女子:9位 男子:5位、9位
 - ダブルス 女子:3位 男子:5位、9位
 - *よって、女子ダブルス1組、女子シングルス1名、男子ダブルス3組、男子シングルス3名が、近畿高等学校選手権大会に出場決定(11月 兵庫県)
- 第64回 大阪私立高等学校総合体育大会 バドミントン競技の部
 - 学校対抗の部 女子:準優勝
 - 学校対抗の部 男子:3位

卓球部

- 第71回 大阪高等学校卓球選手権大会
 - 学校対抗の部 女子:第3位
 - *よって、第71回近畿高等学校卓球選手権大会出場決定
- 第71回 大阪高等学校新人卓球大会
 - 学校対抗の部 女子:第3位

水泳部

- 第25回 近畿私立中学高等学校水泳競技大会出場
 - 男子:400mリレー 50mフリー 100mフリー出場

バレーボール部

- 平成29年度 春季大会 兼 大阪高校選手権大会 兼 全国高校総合体育大会大阪地区第2次予選
 - 大阪ベスト16
- 平成29年度近畿高等学校優勝大会兼
 - 第70回近畿6人制高校男女選手権大会出場

美術・漫画研究部

- 第66回 大阪私学美術展(兼:大阪私立中学校高等学校芸術文化祭典)
 - 工芸部門 優秀賞:3名 奨励賞:2名
 - テーマ部門 優秀賞:1名 奨励賞:1名
 - デザイン部門 奨励賞:2名
 - イラスト部門 奨励賞:3名
 - *工芸部門優秀賞3点とテーマ部門優秀賞1点は、今秋に行われる第37回近畿高等学校総合文化祭に出品決定

テニス部

- 平成29年度 大阪高等学校総合体育大会テニス大会 予選ブロック
 - 男子シングルの部 優勝

吹奏楽部

- 第56回 大阪府吹奏楽コンクール
 - 中地区 優秀賞
 - *よって、大阪府大会に出場権を得る
- 大阪府大会
 - 奨励賞・きらめき賞

陸上競技部

- 第70回 大阪高等学校陸上競技対抗選手権大会(5月 大阪)
 - 女子走幅跳 13位に入り決勝進出
 - 男子4×100m 走高跳 出場

楽しかった夏祭り、キャンプ!

幼稚園 松本 敦司

今年もみんなが楽しみにしていた夏祭り、園内キャンプが7月20日(木)、21日(金)に行われました。いつもとは違う登園時間にワクワクしながらやってきた子どもたち。「こんにちは!」と少し照れくさそうに挨拶をした後、待ちに待った夏の遊びがスタートです。金魚すくいでは元気に泳ぎ回る金魚に苦戦し、ヨーヨー釣りではいろいろな色のヨーヨーに歓声を上げ、大きなジャンボ紙芝居を友達と一緒に楽しみました。また「総合体育館Do夢」では附属高校生のお姉さんや先生たちが用意してくれたお店屋さんが待っていました。たくさんの楽しい遊びがいっぱい!子どもたちはいつもとは一味違う遊びにとっても満足していました。

その後はみんなの大好きなカレーを食べて元気モリモリ!キャンプファイヤーを囲んでみんなで盆踊りを踊った後、夜空に上がったきれいな花火を見ました。

年中組はここで降園ですが、年長組になると親元から離れ、友達と一緒に風呂に入り一晩過ごします。布団に入ってもしばらくはワイワイと賑やかにしていましたが、やがてひとり、またひとりとまぶたを閉じ、最後には全員がぐっすりと夢の中へ…。みんなどんな夢を見たのでしょうか。

翌朝、目を覚ました後は自分で布団を畳みます。その後、朝礼に参加し体操をして、朝ごはんを食べました。9時に一斉にバスが発車。無事保護者の元へ送り届け、二日間に渡る夏祭り、園内キャンプが終わりました。

いつもと違う経験を通して、子どもたちはまた一つ成長できたことと思います。この二日間は子どもたちにとって夏休み最初の楽しい思い出になったと思います。

当日は遊んでくれた高校のお姉さんや、お風呂をお借りした短大寮の皆さん、一晩見守ってくださった守衛さん、そして学園のあらゆる方に支えていただいていた無事にキャンプを行うことができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。





ようこそ!オープンスクールへ!!



幼稚園 杉岡 朋

7月1日(土)・8月5日(土)・9月1日(金)と、今年度は計3回のオープンスクールを行いました。はじめての幼稚園に、ドキドキした顔の親子や、保護者自身が卒園という方、兄弟がすでに在園している方など、たくさんの人に来ていただきました。限られた時間の中で本園の良さやいろいろな事をお伝えできたでしょうか…。当日は職員ひとりひとりが園の顔であることを忘れないようにしながら役割を果たせるよう心掛けました。幼稚園の紹介、ぬいぐるみとのお楽しみコーナー、園内巡り、そして、子どもたちが大好きなおやま。はじめての出会いに目をキラキラと輝かせてくれました。その笑顔を本園で更に、輝かせられるよう努力して参ります。



2017K'sコンサートへのお誘い



学園吹奏楽団運営委員会
法人本部 総務部 浦城 均

毎年多くの来場者をお迎えし、年末の恒例行事として柏原市民の皆さまに愛され、親しまれてきました「K'sコンサート」は、お蔭様で今年第10回目を数えることになりました。

今年度は、来たる12月24日(日)、柏原市民文化会館リビエールホールにて開催されます。

今回は、第10回記念演奏会(定期演奏会)として、柏原市内のすべての中学校、柏原中学校、国分中学校、堅下北中学校、堅下南中学校、玉手中学校の生徒をゲストとして招待し、中学生による演奏も大いに楽しんでいただこうと企画しております。

本学園では今年の夏、*Tama Project 2017*(関西福祉科学大学開学20周年記念、関西福祉科学大学高等学校新校舎竣工記念)の企画として、「玉手山学園祭」を、地域の皆さまをはじめ5,000名を超える皆さまと共に、盛況のうちに開催することができました。

今回のコンサートでは、学園祭とは一味違う企画を準備し、多くの皆さまにご来場いただければと吹奏楽団メンバー全員、例年以上に練習に熱が入っています。玉手山吹奏楽団メンバーは、「音楽を通じて皆さまに笑顔と元気をもたらせられたら、そして自分たちも幸せになる」という思いを持ち、エネルギーあふれる演奏を繰り広げてきました。地域の皆さまへの感謝の気持ちが、メンバーの演奏への情熱、原動力になっています。

第10回目を数えるK'sコンサート。心和らぐメロディを聞きながら、今年1年を想う、そんな素敵なお夜を皆さまと一緒に過ごせたらと思っています。

たくさんの皆さまのご来場をお待ち致しております。

玉手山学園吹奏楽団・K'sコンサートのホームページはこちら
⇒<http://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/concert/>



学園をもっと知ろう!(第4回)

～立教館(その1)～

法人本部 経営企画室 植田 陽

今回は学生の皆さんも訪問されることがある馴染みの深い立教館についてご紹介します。大阪府古文化記念物等保存顕彰規則による史跡指定を受けています。最初に疑問を持たれるのは、「そもそも立教館って何?」「どうして本学園の敷地内に建っているのか?」などでしょう。それらについては紙面の都合上次号で触れます。今回は立教館の歴史についてお話したいと思います。

立教館は文政13年(1830年)、現在の柏原市国分に郷土の子弟教育のための学校として設立されました。設立者は、国分出身の医師・柘植葛城(つげかつじょう)。彼は、国分の医師・柘植常彰の長男。医師としては小石玄瑞の門下ですが、医学を学ぶ以前には儒学者の中井竹山や頼山陽の門下であり、特に山陽門下では「四天王」の一人といわれたほどの俊才だったそうです。文政12年(1829年)に帰郷して医師を開業。翌年、地元の要請に応え、有志の協力を得て立教館を設立しました。国分村以外、遠くは枚方からも通学者があり、多くの生徒たちが学んでいたといわれています。

設立当初は、明円寺(妙円寺)というお寺の境内にあったようですが、その後、塾生(通学者)が増えて建物が手狭になったため、文久3年(1863年)に新しく建て直されることになりました。しかし、幕末の動乱の中、工事は遅れ、完成したのは、ようやく明治4年(1871年)になってからのことでした。しかし、葛城の存在が大きすぎたせいか、後継者に恵まれず学制発布により明治6年に小学校(第25番小学=現在の国分小学校)が設立されると、その役割を終え、消えて行きました。いや、むしろ立教館の関係者たちは、明治維新の到来という時代の中、新しい建物の完成をきっかけに館を私塾から国公立の学校へ転換しようと、慶応4年(1868年)2月から政府に嘆願、新しい建物が完成した明治4年にも嘆願し、ようやく採択されました。もし、小学校設立後も後継者に恵まれ、立教館は中等・高等教育を担当するなど、小学校との間に役割分担が行われていたなら、あるいは、その後、立教館高校や立教館大学にまで発展していったかもしれません。京都の立命館に対して、柏原の立教館といったところでしょうか。明治4年(1871年)10月、立教館は、それまでの私塾から公立の国分村小学校に変わりました。設立された第25番小学は立教館の施設内に置かれ、このとき立教館としての教育は事実上終わったと考えられます。そして、明治7年(1874年)1月に葛城が71歳で亡くなった直後、立教館の建物は県に献上されています。

郷土の期待に応えて設立され、その役割を十二分に担った立教館は、江戸から明治に至る大きな時流の中で激しく浮沈し、歴史の中に消えていきました(一部柏原市HPから引用)。



理事長所感

朝廷でも幕府でも藩でもない、一人の個人が「自分が人を育てる、自分が学校を興す」との高い志のもと、たくさんの私塾が江戸時代後期に創られました。それらはまさに今でいうところの私立学校です。その中のひとつが本学園のキャンパス内にある「立教館」です。目を閉じ、思いを馳せれば、正座し背筋を伸ばして学べることに感謝し喜び、貴重な書籍に集中・没頭している当時の若者たちの姿が脳裏に浮かんでまいります。本学園の建学の精神は「感恩」です。ここで学ぶ学生たちの夢と志が育つことを祈念いたします。

思 感

理事長・学園長 江端 源治

平成28年度決算概要

資金収支計算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで (単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒等納付金収入	4,359,434	人件費支出	3,421,492
手数料収入	80,857	教育研究経費支出	1,081,169
寄付金収入	7,869	管理経費支出	494,620
補助金収入	1,639,458	借入金等利息支出	0
資産売却収入	3,378	借入金等返済支出	0
付随事業・収益事業収入	89,648	施設関係支出	1,892,646
受取利息・配当金収入	24,221	設備関係支出	199,525
雑収入	136,133	資産運用支出	203,500
借入金等収入	0	その他の支出	233,582
前受金収入	837,063	資金支出調整勘定	△226,631
その他の収入	176,020	次年度繰越支払資金	2,452,849
資金収入調整勘定	△1,421,430		
前年度繰越支払資金	3,820,101		
収入の部合計	9,752,752	支出の部合計	9,752,752

事業活動収支計算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで (単位:千円)

科目		決算	
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	4,359,434	
	手数料	80,857	
	寄付金	8,140	
	経常費等補助金	1,189,832	
	付随事業収入	89,648	
	雑収入	136,181	
	教育活動収入計	5,864,092	
	教育活動支出の部	人件費	3,462,947
		教育研究経費	1,618,024
		管理経費	537,601
徴収不能額等		550	
教育活動支出計		5,619,122	
教育活動収支差額	244,971		
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	24,221	
	教育活動外収入計	24,221	
	その他の教育活動外支出	0	
	教育活動外支出計	0	
教育活動外収支差額	24,221		
経常収支差額	269,192		
特別収入	資産売却差額	3,240	
	その他の特別収入	463,902	
	特別収入計	467,142	
	資産処分差額	61,755	
	その他の特別支出	2,117	
特別支出計	63,872		
特別収支差額	403,270		
基本金組入前当年度収支差額	672,461		
基本金組入額合計	△1,474,158		
当年度収支差額	△801,697		
前年度繰越収支差額	△1,996,369		
基本金取崩額	75,020		
翌年度繰越収支差額	△2,723,046		
(参考)			
事業活動収入計	6,355,455		
事業活動支出計	5,682,994		

【資金収支計算書】

学生生徒等納付金収入は、主として大学・新設学部の学年進行により法人全体の学生・生徒数が前年度と比べて増加し、予算比では10百万円減少したものの、前年度比は239百万円増加の4,359百万円となりました。

手数料収入は、入学検定料収入が減少したため、予算比16百万円減少、前年度比12百万円減少の81百万円となりました。

寄付金収入は、予算比8百万円増加、前年度比9百万円減少の8百万円となりました。

補助金収入は、国庫補助金、大阪府補助金等の増加により予算比161百万円増加、前年度比440百万円増加の1,639百万円となりました。

付随事業・収益事業収入は、予算比19百万円増加、前年度比22百万円増加の90百万円となりました。

受取利息・配当金収入は、預金金利の低下のため、予算比では2百万円増加したものの、前年度比32百万円減少の24百万円となりました。

雑収入は、私立大学退職金財団からの交付金収入の増加により、予算比32百万円増加、前年度比16百万円増加の136百万円となりました。

前受金収入は、奨学金支給対象者が想定以上に多かったため、予算比91百万円減少、前年度比16百万円減少の837百万円となりました。

その他の収入は、前年度において第2号基本金引当特定資産取崩収入、差入保証金回収収入があったため、予算比では14百万円増加したものの、前年度比は942百万円減少の176百万円となりました。

その結果、収入の部合計は、補助金収入452百万円を未収入金として計上していることもあり、予算比364百万円減少、前年度比480百万円減少の9,753百万円となりました。

人件費支出は、大学・新設学部の学年進行に伴う教員増による人件費増の影響と、勤続年数が比較的長い教職員の退職が多かったため、予算比では41百万円減少したものの、前年度比は176百万円増加の3,421百万円となりました。

教育研究経費支出は、各部門における節減効果が大きく、予算比では51百万円減少しました。また、前年度において高校2号館解体工事があったため、前年度比は129百万円減少の1,081百万円となりました。

管理経費支出は、教育研究経費支出同様、各部門における節減効果が大きく、予算比42百万円減少、前年度比97百万円減少の495百万円となりました。

施設関係支出は、予算比では69百万円減少しましたが、高校本館建築工事にかかる支出により、前年度比は1,067百万円増加の1,893百万円となりました。

設備関係支出は、高校本館新築にかかる備品購入があったものの、新設学部設置にかかる備品購入等の支出が減少したため、予算比36百万円減少、前年度比は253百万円減少の200百万円となりました。

資産運用支出は、退職給付引当特定資産繰入支出23百万円、収益事業元入金支出50百万円、減価償却引当特定資産繰入支出131百万円の合計額であり、前年度比37百万円増加の204百万円と予算どおりの執行となりました。

上記の結果、翌年度繰越支払資金は予算比30百万円増加、前年度比1,367百万円減少の2,453百万円となりました。

【事業活動収支計算書】

(教育活動収支)

教育活動収入は、経常費等補助金等の増加により予算比138百万円増加、前年度比311百万円増加の5,864百万円となりました。

教育活動支出は、人件費が前年度より増加したものの、教育研究経費及び管理経費の節減に努め、予算比92百万円減少、前年度比69百万円増加の5,619百万円となりました。

その結果、教育活動収支差額は予算比230百万円増加、前年度比242百万円増加の245百万円となりました。

(教育活動外収支)

教育活動外収入は、予算比では2百万円増加したものの、受取利息・配当金の減少により、前年度比は32百万円減少の24百万円となりました。

その結果、経常収支差額は、予算比232百万円増加、前年度比210百万円増加の269百万円となりました。

(特別収支)

特別収入は、車両売却差額及び現物寄付等を計上したこと、施設設備補助金が前年度より増加したことにより、予算比73百万円増加、前年度比383百万円増加の467百万円となりました。

特別支出は、図書除却差額を計上したものの、前年度において建物処分及び借地権除却があったため、予算比横ばい、前年度比321百万円減少の64百万円となりました。

その結果、特別収支差額は、予算比73百万円増加、前年度比704百万円増加の403百万円となりました。

(当年度収支差額等)

基本金組入前当年度収支差額は、前年度よりも学生生徒等納付金、経常費等補助金、施設設備補助金等の収入が増加したこと、経費の節減効果等により、予算比321百万円増加、前年度比914百万円増加の672百万円となりました。

基本金組入額合計は、高校本館新築に係る第1号基本金への組入1,822百万円、過年度に繰延べた第1号基本金の取崩しによる減少420百万円などがあり、予算比313百万円減少、前年度比1,181百万円増加の1,474百万円となりました。

その結果、当年度収支差額は予算比633百万円増加、前年度比267百万円減少の△802百万円となりました。また、基本金取崩額75百万円があり、翌年度繰越収支差額は予算比709百万円増加、前年度比727百万円減少の△2,723百万円となりました。

※平成28年度計算書類、平成29年度予算書の詳細については、
玉手山学園ホームページ
<http://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/>に掲載しています。

貸借対照表 平成29年3月31日 (単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	本年度末	科目	本年度末
固定資産	20,941,027	固定負債	698,102
有形固定資産	14,502,420	退職給与引当金	698,102
特定資産	5,862,480	流動負債	1,439,401
その他の固定資産	576,127	前受金	837,063
流動資産	3,031,493	その他	602,338
現金預金	2,452,849	負債の部合計	2,137,503
その他	578,644		
資産の部合計	23,972,520	負債及び純資産の部合計	23,972,520

【貸借対照表】

資産の部において、有形固定資産は、高校本館新築による建物及び構築物の増加などにより、前年度末比1,463百万円増加の14,502百万円となりました。

特定資産は、退職給与引当特定資産が23百万円、減価償却引当特定資産が131百万円増加したことにより、前年度末比154百万円増加の5,862百万円となりました。

その他の固定資産は、収益事業元入金の増加等により、前年度末比50百万円増加の576百万円となり、固定資産合計では前年度末比1,666百万円増加の20,941百万円となりました。

流動資産は、高校本館新築等に伴う現金預金の減少等により、前年度末比965百万円減少の3,031百万円となりました。

その結果、資産の部合計は前年度末比701百万円増加の23,972百万円となりました。

負債の部においては、未払金及び前受金は減少したものの、主として退職給与引当金が増加したため、前年度末比29百万円増加の総額2,138百万円となりました。

純資産の部において、基本金は、高校本館新築等による組入により第1号基本金が増加したため、前年度末比1,399百万円増加の24,558百万円となりました。

繰越収支差額(翌年度繰越収支差額)は、事業活動収支計算書の当年度収支差額等で述べたように、前年度末比727百万円減少の△2,723百万円となりました。

その結果、純資産の部合計は前年度末比672百万円増加の21,835百万円となりました。

平成29年度予算概要

資金収支予算書 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで (単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	予算	科目	予算
学生生徒等納付金収入	4,445,664	人件費支出	3,540,737
手数料収入	77,127	教育研究経費支出	1,348,223
寄付金収入	0	管理経費支出	484,873
補助金収入	1,131,394	借入金等利息支出	0
資産売却収入	2,400	借入金等返済支出	0
付随事業・収益事業収入	77,653	施設関係支出	227,066
受取利息・配当金収入	15,600	設備関係支出	88,843
雑収入	108,954	資産運用支出	100,700
借入金等収入	0	その他の支出	222,037
前受金収入	927,564	[予備費]	20,000
その他の収入	568,548	資金支出調整勘定	△140,260
資金収入調整勘定	△926,135	翌年度繰越支払資金	2,989,399
前年度繰越支払資金	2,452,849		
収入の部合計	8,881,618	支出の部合計	8,881,618

【資金収支予算書】

平成29年度予算は、高校校舎改修等のため積極的な投資を含んだものとなりましたが、収支の均衡がとれた予算編成となりました。

資金収入は、補助金収入が減少したものの、学生生徒等納付金収入は微増となり、前年度比132百万円増の6,429百万円となりました。

資金支出は、高校校舎改修や旧校舎の撤去等の大きな支出があるものの、平成28年度の高校本館新築に係る支出が無くなった反動で、前年度比1,802百万円減の5,892百万円となりました。

その結果、資金収支差額が537百万円の収入超過となり、次年度繰越資金が増加する予算編成となりました。

【事業活動収支予算書】

事業活動収支においても資金収支と同様の要因により、事業活動収入は前年度比284百万円減の5,859百万円となりました。

事業活動支出は、旧校舎解体に伴う教育研究経費の増加により前年度比270百万円増の6,062百万円となりました。

基本金組入額は、平成28年度の高校本館新築等に係る支出が無くなった反動で、前年度比1,592百万円減の1,959百万円となりました。

その結果、基本金組入前当年度収支差額は前年度比555百万円減で203百万円の支出超過となりましたが、基本金組入後の当年度収支差額は前年度比1,037百万円増の△398百万円となり、翌年度繰越収支差額は支出超過となる予算編成となりました。

事業活動収支予算書 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで (単位:千円)

事業活動収支			科目	予算
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	4,445,664	
		手数料	77,127	
		寄付金	0	
		経常費等補助金	1,099,394	
		付随事業収入	77,653	
		雑収入	108,954	
		教育活動収入計	5,808,792	
	事業活動支出の部	人件費	3,527,512	
		教育研究経費	1,921,581	
		管理経費	531,572	
教育活動支出計	5,980,665			
教育活動収支差額	△171,873			
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	15,600	
		教育活動外収入計	15,600	
	事業活動支出の部	その他の教育活動外支出	0	
		教育活動外支出計	0	
	教育活動外収支差額	15,600		
経常収支差額	△156,273			
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	2,400	
		その他の特別収入	32,000	
		特別収入計	34,400	
	事業活動支出の部	資産処分差額	61,325	
		特別支出計	61,325	
特別収支差額	△26,925			
[予備費]		20,000		
基本金組入前当年度収支差額		△203,198		
基本金組入額合計		△194,911		
当年度収支差額		△398,109		
前年度繰越収支差額		△2,723,046		
基本金取崩額		65,172		
翌年度繰越収支差額		△3,055,983		
(参考)				
事業活動収入計		5,858,792		
事業活動支出計		6,061,990		

女子ハンドボール部 全日本インカレの出場権を獲得

男子ハンドボール部 新たな歴史の1ページをめくる1勝



関西福祉科学大学・関西女子短期大学ハンドボール部
監督 山崎 英幸

男女ハンドボール部は、7月6日(木)～9日(日)、福岡県で行われた西日本インカレにクラブ史上初アベックでの出場を果たしました。歴史を振り返れば、女子部は関西女子短期大学ハンドボール部として平成4年に産声を上げ、平成17年に大学と短大の合同チームを結成し、平成26年に入試制度改革で課外活動入試が導入され、部員数も徐々に増え現在に至っています。

男子部は、女子が合同チームを結成した平成17年に産声を上げ、浮沈を繰り返しましたが平成26年以降は着実に力をつけ、この春季リーグで史上初の2部2位となり西日本インカレ出場を果たしました。

今年は男女とも課外活動入試の完成年度となることもあり、何とか成果を挙げたいと日々練習に励み福岡の地に降り立ちました。

女子の初戦は、東海リーグ3位の東海学園大学。試合開始から終始リードを許し一度もリードできないまま試合終了残り1分20秒にエースが決めて初めてのリード、その後GKのファインセーブがあり18-17で勝利し、あとの2試合も勝ち切り全日本インカレの出場権を獲得しました。(11月:金沢市にて)

男子は、中四国学連1位の環太平洋大学と関西学連1部6位の近畿大学には敗戦しましたが、東海学連1部5位の岐阜聖徳大学との試合は前半同点で折り返し、後半は序盤からリードし一度も追いつかれることなく勝利しました。

この大会で学生たちは、多くのものを得ることができたと思っています。今後はそれを大きく膨らませて、また新たな1ページを築いていくべく精進していきます。

学生たちがここまで成長し頑張れたのは、ひとえに学園の皆様の温かいご支援とご協力があればこそだと感謝しております。今後とも変わらぬご声援をよろしくお願いいたします。



https://youtu.be/dQoyrs_Bt6Q
西日本インカレ女子大事な初戦に
競り勝つ 2017.7.7(福岡)



<https://youtu.be/LQ-1dSsnJz8>
西日本インカレ男子初勝利
2017.7.9(福岡)



学園広報編集委員会

委員長 山口 美和 (大学社会福祉学部)
委員 横山 学 (大学事務局)
辻村 匡志 (大学事務局)
熊谷 英子 (高等学校)

村井 恵 (幼稚園)
植田 陽 (法人本部)
早川 充昭 (法人本部)

石田 由加里(法人本部)